

日本心不全学会市民公開講座が久留米で開催されました

平成 27 年 6 月 14 日（日）に久留米大学 筑水会館にて心不全学会の主催で市民公開講座『心不全を知る・治す・予防する！』が開催されました。梅雨の時期であり当日の雨が心配されましたが、幸い天候にも恵まれ総勢 100 名を超える市民の方に参加いただきました。

特別講演として日本心不全学会理事長の磯部光章先生にご講演いただき、その後『内科』、『外科』、『管理栄養士』の立場より、それぞれ久留米大学心臓・血管内科 安川秀雄准教授、久留米大学外科学講座 田中啓之教授、西九州大学健康栄養学部 梅木陽子講師にご講演いただきました。休憩を挟んだ後半では「質問コーナー」をもうけ、各演者の先生方にご回答いただきました。会場からは「BNP が血中で高くなるメカニズムや意義について」、「冠動脈バイパス術とカテーテル治療の違いは何か?」、「結局、水分はたくさん取った方が良いのか、制限した方が良いのか?」など、多数の質問が寄せられました。時間の制約上、全てに回答する事はできませんでしたが、市民の方々の心不全に対する関心、意識の高さを再認識した次第です。

また久留米広域消防本部にもご協力いただき、救命救急講習も行いました。「家族などの目の前で人が倒れたら・・・」と想像しながら心臓マッサージ、人工呼吸、AED の使用などを体験していただきました。特に AED については、知識はあっても実際触った事がない方が多く、貴重な体験をしていただけたのではないかと思います。

最後になりましたが、本会の開催にあたりお忙しい中ご講演いただきました磯部光章先生をはじめとする演者の先生方、ご協力いただきました方々、そして何より蒸し暑い中ご参加いただきました市民の方々へ御礼申し上げます。

